

ご旅行条件

旅行条件の詳細は「旅行予約款」(募集型企画旅行契約)によります。この旅行は2026年3月25日現在を基準としています。

■旅行契約の解除
参加者が最低実施人数に達しなかった場合は、旅行を中止することがあります。この場合は出発の13日前迄にお知らせします。

<取消料>
お客様都合で旅行を取消す場合は、下記の取消料をお支払いいただきます。

<解除時期・取消料> ※オプションルーツアも同様です。

契約の解除期日	取消料
旅行開始日前日から起算して遡って20日前以降	旅行費用の20%
旅行開始日前日から起算して遡って7日前以降	旅行費用の30%
旅行開始日前日	旅行費用の40%
旅行開始日当日	旅行費用の50%
旅行開始後の解除、無連絡不参加	旅行費用の100%

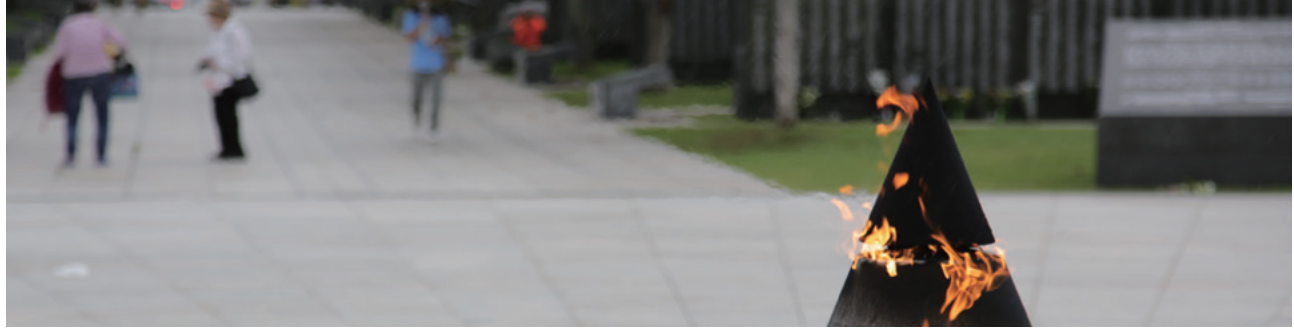
利用予定航空会社	利用予定バス会社
ANA(全日本空輸) またはJAL(日本航空) またはスカイマーク	ゆいバス、おろくバス、 豊見観光バス、那覇バス、 琉球バス交通、北部観光バス

ご旅行要項

■旅行代金に含まれるもの
①企画手配料金および手配料金 ②交通費：旅程に明示した航空機(エコノミークラス往復、羽田⇄那覇)、貸切バス代金(旅程表に記載の部分)、ドライバー諸経費、高速・有料道路代、船舶代 ③宿泊費：下記および同等クラスの基本宿泊料および消費税、サービス料(基本2名一室)【那覇市内】ルートイン那覇泊港または同等クラス ④食事代：旅程表に明示した食事代(朝食2回、昼食2回、夕食1回) ⑤見学費用：旅程表に明示した 見学地の入場料(自由行動時を除く) ⑥国内旅行傷害保険(死亡1,000万円、入院1日当たり6,000円、通院1日当たり4,000円) ⑦添乗員同行費用 ⑧講師謝礼・同行諸経費

■旅行代金に含まれないもの
①旅程表以外に行動される場合の交通費、宿泊料、飲食費等
②超過手荷物料金：規定の重量、大きさ、個数を超える分についての手荷物運搬料金 ③個人的費用：電話、クリーニング代、追加飲食費用、自由行動時の諸経費 ④ツアー中のお食事の際の飲み物代 ⑤一人部屋追加料金：8,000円(2泊合計) ⑥集合・解散場所までの交通費、前後泊の費用

■お部屋割りにについて
基本2名様/1室 ※ホテルの状況によりお一人部屋の手配ができないこともあります。また、相部屋をご希望の場合でも、お部屋割りによりお一人部屋をご利用いただく場合があります。その際は一人部屋追加料金を承ります。あらかじめご了承ください。



県民投票の会元代表 元山仁士郎さんと行く 第3回「慰霊の日」を訪ねる沖縄の旅

旅行期間 2026年6月21日(日)~6月23日(火) 3日間

旅行代金 139,000円 (羽田発着の場合) ※羽田空港以外の発着・現地参加希望の方はお問合せください

※1日目那覇集合、3日目那覇解散(航空券手配なし)の場合は、109,000円

定員 30名様 (最低実施人員15名) **申込締切** 2026年5月21日(木)

添乗員 那覇空港から1名同行します。 ※締切日以降も航空便やホテルに空席があればご参加いただけます。ただし空席状況によりご料金が変更の場合がございます。お問合せください。

旅行企画・実施 観光庁長官登録旅行業第84号 JATA正会員

●この旅行に関するお問合せ・お申込みは下記まで

株式会社 **富士国際旅行社** 〒231-0062神奈川県横浜市中区桜木町1-1-7
ヒューリックみなとみらい11F-4
総合旅行業務取扱管理者：西須 輝理

TEL:045-212-2101 FAX:045-212-2201
MAIL:fuji@fits-tyo.com 担当:山田・西須(さいす)・川村・小島

営業時間：月～金曜日/AM10:00～PM6:00 (休業日：土日・祝日)
ホームページ：http://www.fits-tyo.com/

お申込方法

①同封の国内企画旅行取引条件説明書面をご確認の上、下記申込書にご記入いただき、富士国際旅行社宛に郵送・FAXでお送りください。右記QRコード(ホームページ申込フォーム)からもお申込みいただけます。②**申込金20,000円**(旅行費用内金)または**旅行費用全額**を富士国際旅行社宛に下記郵便振替口座へご送金ください。(申込書と申込金の両方の到着をもって正式申込)

ウェブ申込フォームはこちら

郵便振替口座番号 00140-4-39332 加入者名 株式会社 富士国際旅行社

恐れ入りますが、振込手数料は各自ご負担願います。なお、大変恐縮ではございますが、金融機関振込票のお客様控をもって領収書に代えさせていただきますので、ご了承ください。(領収書の郵送が必要な方は弊社までご連絡ください)

③ツアー実施確定しましたら、弊社よりご連絡いたします。
④ご出発の約10日前には出発当日のご案内や日程の詳細などの、ご旅行資料を送付いたします。

株式会社 富士国際旅行社 宛
●別紙、取引条件説明書面に記載の旅行条件および旅行手配のために必要な範囲内での運送・宿泊機関等、その他への個人情報の提供について、同意の上、当旅行に申し込みます。

参加申込書 元山仁士郎さんと行く 第3回「慰霊の日」を訪ねる沖縄の旅 2026年6月21日(日) 発

ふりがな	性別	旅行出発時年齢	ふりがな	性別	旅行出発時年齢		
氏名	男女	歳	同行ご家族	男女	歳		
生年月日	年	月	日生	生年月日	年	月	日生
住所	(〒 -)		出発空港	希望空港に○をお付け下さい↓ 羽田・関西・伊丹・中部・福岡・その他(※行程表に記載の時刻・ツアー代金は、羽田発着の場合です。羽田以外をご希望の方は、別途、航空便時刻・御料金をご案内いたします。)			
電話	()	-	参加人数及びお部屋割りにについて	□1人部屋希望※一人部屋利用/別途追加料金がかかります。			
FAX	()	-		□2名部屋：()様と同室を希望			
携帯番号	()	-	□2名部屋：どなたでも良い(男女別)				
メール	()	@	前泊	各空港周辺の前泊ホテル手配を承っております。 □前泊を希望する () 空港周辺) ※料金別途ご案内			
旅行中緊急連絡先	【連絡先名】 (続柄:) 【住所】 【電話番号】		旅行社への連絡事項	食べられないものやアレルギーがある方、健康状態など旅行社へ連絡事項がある場合、記入下さい。			
アンケート	今回の企画をどこまでお知りになりましたか? ()						

※大変恐縮ですが、航空便予約と国内旅行傷害保険加入のため、年齢と性別情報が必要となります。

旅のポイント

- 6月23日に開催される**沖縄全戦没者追悼式に参加します**
- 作家・永井玲衣さんが同行、**対話をとおして戦争を考えます**
- 普天間・嘉手納・辺野古・**恩納村メースB基地を見学し、南西諸島の軍事化や核ミサイル問題を学びます**

ツアー企画者紹介

Profile 元山 仁士郎さん
もとやま じんしろう

宜野湾市生まれ。国際基督教大学教養学部卒業。一橋大学大学院法学研究科博士課程。SASPL(特定秘密保護法に反対する学生有志の会)、SEALDs、SEALDs RYUKYUの立ち上げ/中心メンバー。神奈川大学非常勤講師。2018年4月から大学院を休学し、「辺野古」県民投票を実現する「辺野古」県民投票の会の代表を務めた。2019年1月には県民投票への不参加を表明した5つの市の市長に対してハンガーストライキを行い、全県実施を実現するために尽力した。

Peace Green Humanity
(株)富士国際旅行社

旅行企画・実施

〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町1-1-7
ヒューリックみなとみらい11F-4

日次	都市	交通機関	時刻	日程 / 食事
① 6/21 (日)	東京・羽田空港発	航空便	午前	各地空港から空路、沖縄・那覇へ (羽田空港集合 午前8時30分頃予定) 昼頃:那覇空港集合
	沖縄・那覇空港着/発	専用車	午後	<午後:沖縄中部・北部見学> *嘉数高台(普天間基地遠望) *佐喜真美術館 *チビチリガマ ★夕食参加者交流会
	沖縄中部・北部			
	那覇市内ホテル着		夕刻	那覇市内泊/朝×昼×夕○
② 6/22 (月)	那覇市内ホテル発	専用車	午前	<終日:沖縄中部・北部見学> *道の駅かでな(嘉手納基地) *新基地建設問題の辺野古
	沖縄中部・北部		午後	*恩納村(米軍「核ミサイルメースB基地」跡地) □夕食は各自自由食
	那覇市内ホテル着		夕刻	那覇市内泊/朝○昼○夕×
③ 6/23 (火)	那覇市内ホテル発	専用車	午前	<南部戦跡見学> *南風原周辺 *沖縄平和祈念資料館 ★「沖縄全戦没者追悼式」に参加
	沖縄南部		午後	*ひめゆり資料館
	沖縄・那覇空港着・発	航空便	夕刻	那覇空港へ移動 17時頃、那覇空港到着 空路、各地空港へ (羽田空港到着 21時00分頃予定)
	東京・羽田空港着			朝○昼○夕×

※現地事情で見学日時・順序が入れ替わる可能性があります。予めご了承ください

profile

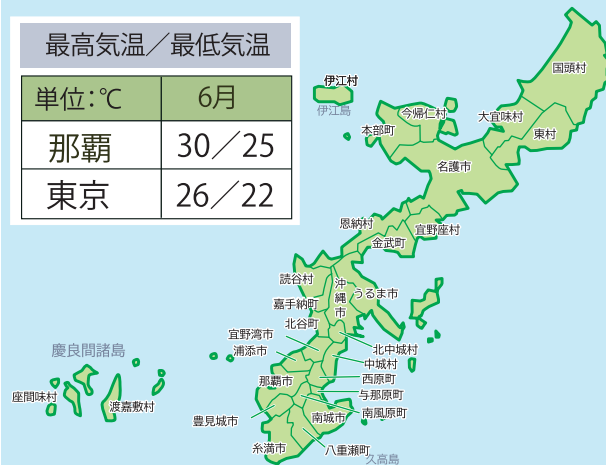
同行者紹介

ながい れい
作家・永井玲衣さん

1991年、東京都生まれ。人びとと考えるあいききあう場を各地でひらく。著書に『水中の哲学者たち』(晶文社)、『世界の適切な保存』(講談社)、『さみしくてごめん』(大和書房)。第17回「わたくし、つまりNobody賞」受賞。詩と植物園と念入りな散歩が好き。

最高気温/最低気温

単位:℃	6月
那覇	30/25
東京	26/22



辺野古 新基地建設のいま

沖縄本島北部の東海岸にある大浦湾は、多様な生態系を誇り、世界的にも貴重なアオサンゴの群集とジュゴンが生息する海です。そんなキレイな海を望む名護市辺野古では、普天間基地の移設先として辺野古への新基地建設が進んでいます。2018年9月30日投開票された沖縄県知事選では、翁長雄志知事の遺志を継ぎ、辺野古新基地反対を掲げて初当選した玉城デニー前衆院議員が過去最多となる39万6632票を獲得しました。2019年2月24日に実施された辺野古米軍基地建設のための埋立ての賛否を問う県民投票では、県民の7割が反対を示しましたが、国は移設に向けた工事を続けました。「基地がある所は狙われる。二度と悲惨な戦争は起こしてはいけない」「未来を生きる子供たちにきれいな海を残したい」という思いで、多くの人が現在も基地反対の座り込みを続けています。



新基地建設が進む大浦湾

国は大浦湾のマヨネーズ並みとされる軟弱地盤の設計変更を沖縄県に申請しましたが、県はこれを不承認とし、埋め立て工事は2023年までストップしていました。軟弱地盤の改良工事を承認しない県に対して国が行った是正の指示が違法かどうか争われた裁判で、2023年9月、県の敗訴が確定。この判決により、県は工事する義務を負いましたが、応じない姿勢をとりました。そのため、国は県に変わって工事の代執行を行う訴えを起こし、裁判所はこれを認めました。地方自治法に基づく代執行は初めてで異例の事態です。2024年1月から防衛省は大浦湾の工事に着手しています。

6月23日「慰霊の日」と沖縄県営平和祈念公園

1945年6月23日。沖縄の防衛に当たっていた日本軍司令官の牛島満中将やその部下が自決したことにより、沖縄戦における日本軍の組織的戦闘が終結した日とされます。沖縄ではこの日を「慰霊の日」と呼び、県内では追悼式が開かれ、平和への祈りに包まれます。公園内の「平和の礎」にはアジア・太平洋戦争から沖縄戦にいたるまでに亡くなった沖縄県出身者すべてと、沖縄戦で亡くなった本土の人、及びアメリカ、イギリス、台湾、朝鮮民主主義人民共和国、大韓民国の戦没者、計242,567名の名前が刻まれています。(2025年6月23日時点)広場の中央には「平和の火」が灯され、「世界の恒久平和を祈念し、平和情報を発信する場所」とされています。



旅の見学地紹介

佐喜真美術館

宜野湾市にある佐喜真美術館は、普天間基地に隣接する場所に建てられた私立美術館です。館の敷地はもともと米軍に接収された土地の一部。創設者の佐喜真道夫氏が長年の交渉の末に取り戻し、1994年に開館しました。基地のフェンスのすぐそばに美術館が立つという事実が、沖縄の戦後がまだ続いていることを示しています。館内には、丸木位里・俊夫妻による大作「沖縄戦の図」が展示されています。8枚の連作で、集団自決や住民虐殺など沖縄戦の実相を、白と黒と赤を基調とした力強い筆致で描いています。声にならない叫びや折り重なる人々の姿は、見る者に戦争の理不尽さを直接的に訴えかけます。屋上へと続く階段は、6段と23段。屋上からは普天間基地を一望できます。



チビチリガマ

読谷村に位置する自然洞窟。1945年の沖縄戦で米軍が上陸した際、避難した住民約140人のうち約80人が集団死に追い込まれた場所でもあります。当時の住民たちは「捕虜になれば辱めを受ける」という軍国主義教育を深く刷り込まれており、投降という選択肢を持たないまま死へと追い込まれました。犠牲者の多くは子どもや女性でした。同じ読谷村のシムクガマでは、約1,000人が避難していたにもかかわらず、ハワイ移民経験者の説得により全員が投降して生き延びました。わずか数百メートルの距離に生まれた対照的な結末は、人々が持つ「情報」と「選択」がいかに命を左右するかを示しています。この事実は長年にわたり遺族や地域社会の中で沈黙を強いられ、語られることがありませんでした。「集団自決」という言葉をめぐる議論も含め、事実が広く共有されるようになったのは戦後数十年が経ってからのことです。チビチリガマは、現在も地域で守られ、沖縄戦の実相と平和の大切さを次世代へ伝える大切な場となっています。

米軍「核ミサイルメースB基地」跡地

沖縄県読谷村に残る、冷戦時代の核ミサイル基地跡地です。1960年代、米軍はここに射程約2,000kmの地対地核ミサイル「メースB」を配備し、中国や旧ソ連を射程に収める極東最大級の核戦力拠点としていました。住民には長く存在が秘匿されており、沖縄が知らないうちに核戦争の最前線に置かれていたことを示す場所です。1972年の本土復帰後に返還され、現在は発射台の台座など当時の構造物遺構として、核兵器と平和を考える場として残されています。